

大会参加レポート  
J-cup スキー0 大会  
2004年2月28-29日

# スキー0 に春風

木村佳司

シーズン最後のスキー0 大会。吹き込んだ新しい風と迎え撃つ意地が激しくぶつかった。そのパワーが日本のスキー0 を新たな境地へと導いてゆくようだ。

山形もがみ国体開催記念  
スキーオリエンテーリング大会  
2004年2月28日(土)-29日(日)  
山形県真室川町国体スキーコース

## 高橋直博！

今回の真室川 J-cup での最大のトピックは高橋直博の登場だ。高橋は地元山形県金山町のクロスカントリースキー選手。しかしその実力は国際級。1週間前に真室川町で開催された国体クロスカントリースキーでは、名だたる日本代表選手を破って優勝。クロカンスキー界では文句なしの日本のトップだ。

その高橋直博が同じ真室川町で開催されるスキー0 大会に参加するとあって、その能力が注目されていた。



高橋直博 幻の優勝

日本スキー0 のトップレベル選手との直接対決は2月28日に行われたミドルディスタンスの1レースのみ。残念ながらこのレースではコントロールの設置ミスが発生して、競技不成立となってしまった。参考タイムは公表されたが、あくまでも参考である。しかし、

それでも高橋選手の速さには目を見張るものがある。

日本のスキーオリエンティア誰もが目標にしているグスタフソン(スウェーデン/現在日本に赴任中)。彼はこのレース中不幸にポール(ストック)を折り、約80分のコースタイム。そこを高橋直博はなんとなんと65分で滑りぬけている。

真室川のコースは国体競技で使用されたピステ(圧雪道)を中心にコースが設定されていたこと、真室川が彼のホームコースだったことなどが高橋選手に有利にはたらいたということもあるが、初めてのスキー0 でこの速さは素晴らしい。

森の中のトラックネットワークが多いコースではどのような実力になるかわからないが、世界で戦える素地は充分にあるといえる。

高橋は現在フィンランドで暮らして、スキーに励んでいるという。そして夏場のトレーニングとして、フットオリエンテーリングにも参戦した経験があるという。

2005年のスキー0 世界選手権はフィンランドで開催される。高橋の活動拠点としている街ともそう遠くないらしい。

スキー0 世界選手権参加の話に高橋も乗り気である。日本のクロスカントリーのナショナルチーム入りを断つても、フィンランドで開催される世界選手権に参戦する意思を見せている。

2005年3月、日本人が世界選手権の表彰台に立つ日がやってくるかもしれない。

## 北海道2人組！

新しい風は高橋だけではない。北海道教育大学の松井、北海道浅井学園大学の日向も日本のスキー0 に新しい風を送り込んでくれそうだ。

1日目のレースで、日向は木村(筆者)をコース後半であっさりブチ抜いてくれた。そのスキーの速さはもう素晴らしい。追いかける気力も沸かないほどだ。ただ、このスピードをもってしてもコース後半でしか私を抜けなかった

のは、ナビゲーションがまだまだ律速になっているのだろう。

しかし2日目の競技では、その本来の速さを爆発させてくれた。タイム比でみると木村の65%。速い。

もう日本のB級選手は充分に射程範囲である。地図読みや、細いトラックのトレーニング次第では世界選手権出場もすぐ目の前にあるだろう。



柴田選手 スプリント2位

## 意地を見せるオリエンティア

こうした刺激的な風が吹き込んだ今回のJ-cup。しかしフットオリエンテーリング出身の選手も意地を見せる。もともとナビゲーション技術がある中で、スキーテクニックもどんどん上達しているのだ。

2日目のスプリント競技。前日競技が不成立になっただけに、このレースは気合がはいっていた。

男子決勝を制したのは、元木悟(Team白樺)。そして2位に柴田真達(OLP兵庫)、3位に小林岳人(ES関東C)。この日は距離が短いこともあって、気合一発の滑りを見せたオリエンティアが多かった。

都合で高橋直博は不参加。予選レースでグスタフソンが隣接コントロールにひっかかって、まさかの失格。



スプリント優勝の元木悟  
深雪の急斜面を下り降りる。

### スプリント結果

#### ME 決勝 (8名)

- |        |        |         |
|--------|--------|---------|
| 1 元木 悟 | 18'15" | Team 白樺 |
| 2 柴田達真 | 20'41" | OLP 兵庫  |
| 3 小林岳人 | 20'57" | ES 関東 C |

#### WE 決勝 (5名)

- |        |        |         |
|--------|--------|---------|
| 1 酒井佳子 | 16'15" | 札幌農学校   |
| 2 植野由香 | 18'20" | ルスツリゾート |
| 3 白鳥桂子 | 19'32" | 水篋刈     |

#### M55A (3名)

- |        |        |         |
|--------|--------|---------|
| 1 深野 悟 | 19'01" |         |
| 2 鈴木三郎 | 20'55" | 二本松 OLC |
| 3 磯村富也 | 21'28" | 岩国 OLC  |

#### M21A (12名)

- |        |        |       |
|--------|--------|-------|
| 1 日向 学 | 12'00" | 浅井学園大 |
| 2 松井拓磨 | 12'22" | 北教大旭  |
| 3 中町和雄 | 16'40" | みちの会  |

#### W21A (3名)

- |         |        |         |
|---------|--------|---------|
| 1 小林正子  | 17'21" | ES 関東 C |
| 2 片岡由起子 | 20'36" | 渋谷で走る会  |
| 3 酒井か代子 | 21'53" | Team 白樺 |

#### M20A (1名)

- |        |        |     |
|--------|--------|-----|
| 1 八神遥介 | 18'45" | 東北大 |
|--------|--------|-----|

#### B (5名)

- |         |        |           |
|---------|--------|-----------|
| 1 大澤賢太郎 | 16'38" |           |
| 2 渡辺 幸  | 19'16" |           |
| 3 渡辺達也  | 19'37" | PRODUCT-K |

## スプリント決勝観戦記

男女 E クラスでは、午前に行われた予選結果をもとに、午後の決勝のスタート順が決定される。

待ち構えるポイントはコース終盤の男女共通レック。尾根にあるピステ道から急斜面の下ってくるポイント。当然森の中で木がたくさん生えている。クロスカントリースキーではかなり厳しいと思われる下りである。ここをどのように選手が降りてくるのか、迫力ある姿が見られるのが興味があった。

最初に姿を現したのは、女子の白鳥。急斜面ではセオリー通り、お尻をつき制動をかけてそのまま滑走してくる。なかなかうまいものだ。年間 50 日を滑り込む彼女はここ 2 年で見違えるほど上手くなった。女子の高橋美和もお尻制動でソロソロと降りてくる。

しかしその他の選手は果敢にもチャレンジしてくる。ボーゲンでまっすぐに降りてくる者、斜面をジグザグに回りながら滑る者。



内山孝博 小さなガケの上に出ってしまった

斜面の最後にはちょっとしたガケもあり、そこでは転倒する者も少なくない。こうしたところではスキーにどれだけ慣れていけるかが勝負を分ける。すこし間違えばケガにつながる。自分の実力と状況を見切る力が必要なのだ。

優勝した元木は特攻隊のような速さで斜面を下ってくる。美しく斜面をジグザグに降りてくるのは、上位に入った山田一善と植野由香。ボーゲンでまっすぐに降りてきたのは女子優勝の酒井

佳子だった。ここで転ぶとタイムロスになる。秒差を競うスプリント競技で、転倒は痛い。



羽鳥和重  
かなり上達したが、この斜面は厳しすぎる

森の中にも場内放送でレース結果が次々としてくる。予選トップ通過の宗形竜憲が私の目の前を通過した時、元木の優勝確定の放送が聞こえた。

トレインの特性から考えて、宗形有利と誰もが思ったし、実際に午前の予選ではトップ通過を果たしている。しかし決勝ではマテリアルの故障もあり 6 位に終わった。

女子は予選の結果とは逆に酒井佳子が植野由香を上回り、優勝を果たした。

## 楽しくなったスキー-O シーン

新たな風が話題になった今回の大会だが、結果をみれば男子優勝はベテラン勢が占めた。さらに予選ペナで決勝は単なる前走となってしまったグスタフソンも、参考ながら最速タイムを叩き出す。まだまだ若手には負けられないぞと言わんばかりだ。

大会の最後は大ジャンケン大会。スポンサーのフィンランド航空から世界選手権行きの航空券が提供され、早くも 2 名が獲得している。

新たな風が入ってきたこと、そしてベテランが激しくぶつかった今回の大会。これからのスキー-O シーンは楽しくなりそうな予感だ。

(木村佳司)



最後に大ジャンケン大会。  
フィンランド往復航空券が当たったのは酒井か代子 (Team 白樺)